

- 1 『リーディングホスピタル』として、高松市医療全体の最適化を目指します。
- 2 『理想的な医療』を、ファインチームワークで提供します。
- 3 『まごころのある医療人』を、全力で育成します。

地域医療連携だより

平成29年
11月号
第32号

診療科紹介

リハビリテーション科 リハビリテーション技術科

当院、リハビリテーション科、医療技術局リハビリテーション技術科の紹介をさせていただきます。

当科では今年度よりリハビリテーション科診療部長として脳神経外科医が新たに配属され、理学療法士9名、作業療法士4名、言語聴覚士3名で業務を行っています。

疾患別リハビリは脳疾患、運動器疾患、呼吸器疾患、がんのリハビリ、廃用症候群に対して行っています。また、早期離床、合併症予防、ADL・QOLの向上を目標に、より良いリハビリテーションを目指しています。

リハビリ業務以外にも、多職種からなる院内活動、栄養サポート、呼吸サポート、緩和ケア、排尿ケア、褥瘡対策、感染対策、医療事故防止など委員会や院内ラウンドにも参加し活動しています。

院外活動では「市政出前ふれあいトーク」「高松市民病院 やさしい健康講座」としてコミュニティセンター等の市内各所にて「腰痛・膝痛」「転倒予防運動」や「寝たきり防止」などのテーマで講演を行い、市民の健康増進、疾病予防のため活動しています。



スタッフ一同



理学療法

怪我や病気、高齢、障害によって身体機能や運動能力に支障を来した人に対して、運動機能の維持・改善を目的としてより早期より実施しています。主に運動機能の改善により、日常生活動作の改善を図り、最終的にQOLの向上を目標にサポートしていきます。また、早期回復や合併症予防のためにも、早期離床・早期リハビリテーションに積極的に取り組んでいます。



作業療法

「作業」＝「生活すること」の意味合いがあり、さまざまな障害を負った方々に
対し、いろいろな作業活動を用いて治療を行います。作業活動を通じて実際の生活
に必要な筋力、関節の動き、感覚機能などの維持・改善を図るとともに、スムーズ
な動きや耐久性の獲得を目指します。

活動は日常活動動作から趣味的なものまで幅広く、同時に認知機能にも働きかけ、不安を和らげたり
自信づけを行ったりします。また、その人の機能を最大限に活用できるように道具や環境の工夫・家
族への介護方法の練習や指導にも介入していきます。



言語聴覚療法

人と話す楽しみ、自分の舌で味わう喜びを取り戻せるよう、コミュニケーション
や食べる機能の獲得・回復・維持を目的にお手伝いをしています。

またこのような障害を家族や周囲の人に理解し、支援していただけるよう取り組ん
でいます。



嚥下障害の方には、必要に応じて嚥下造影検査（VF）や嚥下内視鏡検査（VE）を実施し、食べやす
い姿勢の工夫や食事形態の検討をします。また、患者様やご家族にも実際のVF・VEの画像を見ていた
だきながら嚥下の状態を説明しています。

（文責 稲田 光範）

第5回 高松市立病院学会の開催報告

高松市立病院学会は、高松市立病院（高松市民病院、塩江分院、香川診療
所）全体の活性化とレベルアップを図るとともに各部門間の理解と交流を深
めることを目的に平成24年から、年に1回開催しております。今年も10
月14日（土）に香川県教育会館ミュージズホールにて第6回高松市立病院学
会を開催しました。

今回は、高槻赤十字病院緩和ケア診療科部長の岸本實史先生に「語りに基づ
く緩和ケア」の演題で特別講演をしていただきました。緩和ケアにおける
EBM(evidence based medicine、根拠に基づく医療)の危うさと、患者との対
話を通じて行う医療、NBM(narrative based medicine、物語に基づく医療)
の重要性についてのお話がありました。特に、がん患者が画く「実のなる木」の絵を通して分かる、
がん患者の内面の複雑さなどのお話は、がん患者と接する現場の医療関係者には非常に興味のある内容
でした。その他、例年どおり13題の一般演題や臨床研修協力病院である沖縄県立八重山病院（石垣
市）での2回目の研修の報告などを行いました。また、今年も地域医療機関や関係教育施設、高松市議
会議員の皆様方にもご参加いただき、誠にありがとうございました。

来年度にはいよいよ新病院「高松市立みんなの病院」が開院します。次回の高松市立病院学会もそれ
に合わせて、新病院多目的ホール「みんなのホール」で開催する予定にしておりますので、よろしくお
願いいたします。



高槻赤十字病院
緩和ケア診療科部長
岸本實史先生



第5回 おいでまいよ会を開催しました

緩和ケア委員会では、毎年10月の緩和ケア週間に「おいでまいよ会」を開催しています。今年は第5回と節目の年でありテーマを「『緩和ケア』をもっと身近に感じてもらいたくて」とし、「緩和ケア」について考えていただきました。講演やCafé、パンフレットを準備し、相談などをお受けしました。また、恒例の日用品バザーの売上金は、今年も全額、骨髄バンクに寄付させていただいています。



昨年度と同様に緩和ケア認定看護師、がん薬物療法認定薬剤師など多職種によるラウンドやカンファレンスを実施し、問題解決の糸口を探すお手伝いをしています。

当院では、がん相談員が、がんに関する質問や相談をお受けしています。各診療科・地域医療連携室・病棟ナースステーションの看護師にお気軽にお声かけください。



バザー



講演会

(文責) 緩和ケア認定看護師
長尾 あけみ



地域医療の「つどい」in塩江2017を開催しました

地域まるごと
医療を実践する
塩江分院

平成29年8月24日(木)、4回目となる地域医療の「つどい」in塩江2017を開催しました。

今回は香川大学の医学生3名を迎えて医学生との交流を図るとともに医学生に地域の方との交流を通じて、地域医療の現状を理解してもらいました。

訪問診療、訪問看護、サロン活動、PEG交換見学など、大学ではあまり体験できない、塩江分院ならではの活動や院内実習に参加していただきました。

アンケートでも、「貴重な体験、塩江分院でしかできない体験ができた。」、「これまでの研修の中でもかなり充実していた。」など好意的な回答が寄せられていました。

来年度も開催時期を見極めながら引き続き「つどい」を開催する予定ですので、医学生の皆さんのふるっての応募をお待ちしています。



サロン活動風景



訪問診療同行風景



腹部エコー検査風景

第55回 地域医療連携セミナーのご案内

◆ 日時 平成30年2月21日（水）午後7時から（1時間半の予定）

◆ 場所 高松市民病院 西館（2F）西会議室

◆ 演題 1 「褥瘡の局所治療」

講師 形成外科 医長 高津 州雄

2 「心不全と心エコー図」

講師 徳島大学大学院医歯薬学研究部

地域循環器内科学 特任教授 山田 博胤

※ 事前申し込みが必要です

- 日本医師会生涯教育制度のカリキュラムコード（58 褥瘡、45 呼吸困難）を取得いただけます。（申請中）
- 当日は軽食をご用意しております。
- 一人でも多くの先生方のご出席をお待ちしております。

【お問合せは】 高松市民病院 地域医療連携室 セミナー担当者 まで

『医療・介護関連施設職員研修会』開催

第42回



日 時：9月28日（木）14：00～15：00
テ ー マ：「医薬品使用時の注意事項について」
「糖尿病に関する薬剤について」
担 当：薬剤師 松村 佐知子
薬剤師 宮井 明日香
参加人数：18名

日 時：10月26日（木）14：00～15：00

テ ー マ：「高齢者と糖尿病
～低血糖時の対処方法について～」

担 当：糖尿病看護認定看護師 日下 由美子

参加人数：29名

第43回



ご参加ありがとうございました

研修会等の年間予定表・申込用紙は病院ホームページからもダウンロードいただけます。

<http://www.takamatsu-municipal-hospital.jp>



…FAX予約をお願いします…



受付時間 平日（月～金）午前 8時30分～午後 6時00分
電 話 (087) 834-2181代表 / (087) 834-2235（紹介予約専用）
F A X (087) 834-2223（直通）
0120-834-224（フリーダイヤル）
※フリーダイヤルは県内固定電話のみ対応しております

患者さんをご紹介いただく際に、地域医療連携室へ事前にFAX予約をお願いいたします。
「高松市民病院FAX診療申込書」をご利用ください。